

平成29年度 企画政策部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(企画政策部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性																											
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。																											
	平成29年度 of 取組状況報告																											
	05-01 市街地整備の推進																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランに基づき、「駅を中心とした集約型都市構造」「地域経済の活性化」「災害に強い安全・安心な都市環境」「江別市の特性を活かした魅力ある都市」を都市づくりの目標とし、土地利用や都市施設の整備などを進めました。江別の顔づくり事業の進捗などにより、成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は増加傾向です。 ・高齢者の住み替えを支援し、子育て世代の移住を進めるため、住み替えニーズの把握強化と住み替え先の確保に向けた取組を進めました。平成29年度は大麻出張所に開設した住み替え相談窓口の継続と、アンケートや戸別訪問などによるニーズ把握を行ったほか、自治会回覧による活動周知、ホームページやフェイスブック等のSNSによる情報発信などに取り組みました。 ・駅周辺の安全性、快適性の向上とバリアフリー化の促進のため、平成29年度は野幌駅周辺の交通施設の整備に合わせたバリアフリー化を建設部とともに進めました。成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は増加傾向にあり、段階的、継続的な取組が反映されているものと考えられます。 																											
	05-02 交通環境の充実																											
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通において大きな役割を担っている路線バスは、運転手不足と利用者減少により、現在の運行規模を維持することが困難になっています。平成29年度は、持続可能な市内バス路線網を形成するため、地域公共交通活性化協議会において、地域公共交通網形成計画(案)と地域公共交通再編実施計画(案)を取りまとめました。 ・路線バスの現状を周知するための広報特集記事の掲載や、利用促進を図るためのバスマップの配布などの取組を行いました。 																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>政策の成果指標</th> <th>単位</th> <th>(初期値)</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)</td> <td>%</td> <td>76.7</td> <td>77.6</td> <td>79.1</td> <td>80.2</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)</td> <td>%</td> <td>57.9</td> <td>64.2</td> <td>65.9</td> <td>64.4</td> <td>↗</td> </tr> </tbody> </table>							政策の成果指標	単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.6	79.1	80.2	↗	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	64.2	65.9	64.4	↗
	政策の成果指標	単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標																					
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)	%	76.7	77.6	79.1	80.2	↗																					
交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)	%	57.9	64.2	65.9	64.4	↗																						
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況																												
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数</td> <td>件</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>15</td> <td>34</td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員</td> <td>千人</td> <td>548</td> <td>554</td> <td>610</td> <td>602</td> <td>→</td> </tr> </tbody> </table>							「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	5	15	34	↗	「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	554	610	602	→								
「大麻地区住環境活性化事業」 住まい相談件数	件	3	5	15	34	↗																						
「公共交通利用促進対策事業」 バス輸送人員	千人	548	554	610	602	→																						

政策 08 協 働	政策展開の方向性							
	江別市自治基本条例の理念に基づき、市政への市民参加を進めるとともに、市民、自治会、市民活動団体、企業、大学などの各種団体と連携して魅力ある協働のまちづくりを推進します。また、グローバルな視点に立ち、人材・団体の育成を進め、在住外国人とも協力し合うなど、国際交流を推進します。							
	平成29年度の取組状況報告							
	08-01 協働のまちづくりの推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・若者の地域定着への取組として、学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内4大学や近隣自治体等と連携して、学生の地域活動や地域企業インターンシップを実施しました。 ・大学と地域の連携を進めるため、教員や学生の地域課題研究及び地域活動に対し支援を行いました。補助事業本数については減少しているものの、1事業当たりの補助額は増加しており、応募件数についても一定数を保っております。また、研究や活動の結果を報告する事業報告会を開催したほか、大学の持つ専門知識の地域還元を目的に、大学教員による出前講座のPRを行い、開催を支援しました。 ・若い世代を中心とした独身男女の出会いの場を提供するイベントを2回開催し、多くの参加者を得ました。 ・友好都市土佐市との交流事業では、引き続き小中学生相互交流派遣事業や土佐市から訪問団を迎え市民団体と協力して土佐市特産品物販イベントを実施するなど、次年度に迎える友好都市提携40周年を見据え両市の友好を深めることができました。 							
	08-02 国際交流の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹都市提携40周年記念事業ではグresham市長をはじめ23名のグresham市民を迎え祝賀会や記念植樹などのイベントに多くの市民が参加し、市民を挙げて両市の友好をより一層深めることができました。そのため指標である地域国際化のためのイベント等の参加者数は大幅に増加しました。 ・国際センターが主催する「世界市民の集い」などの国際交流イベントに対し、国際交流員が中心となりイベントへの参加に加え、多くの外国人に参加を周知するなど、市民が国際交流を深める場となるよう開催を支援しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	お互いの文化や価値観を理解し、外国人と交流できる市民割合		%	42.7	52.3	49.2	48.6	↗
	企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
「大学連携調査研究助成事業」 「大学連携学生地域活動支援事業」 補助事業本数		件	6	11	11	9	↗	
「国際交流情報提供事業」 国際交流員が携わった地域国際化のための講座・イベント等の参加者数		人	895	1,096	1,207	1,876	↗	

政策 09 計 画 推 進	政策展開の方向性							
	効率的な行政サービスの執行と健全な財政の確保により、市の基礎自治体としての機能を充実させ、自主・自立の市政運営を推進します。また、市政の透明性を確保するとともに、市民と市の情報共有を図るため、広報広聴の充実を図り、情報公開や個人情報保護制度を適正に運用します。 さらに、男女共同参画による市政運営を推進するために、男女平等意識の醸成に努めます。							
	平成29年度の取組状況報告							
	09-01 自主・自立の市政運営の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・第6次江別市総合計画の成果をPDCAサイクルを用いて継続的に向上させていくため、まちづくり政策と未来戦略について行政評価に取り組みました。併せて、平成26年度の江別市行政評価外部評価委員会での検討結果に基づき、えべつ未来戦略の戦略1・4の各事業に対して外部評価を実施しました。また、平成30年度の総合計画の中間見直しにむけて作業を進めました。 ・「江別市行政改革大綱」に基づく「行政改革推進計画」の進行管理をしながら、行革項目の着実な実行と新たな課題に向けた検討を進めました。 ・石狩管内8市町村で構成される札幌広域圏組合において、職員研修事業、情報発信事業、移住促進事業など多分野にわたる連携事業を実施したほか、近隣市交流（江別市、厚別区、北広島市）で、各種事業を通して市民レベルの交流を行いました。 							
	09-02 透明性と情報発信力の高い市政の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動においては、広報誌面のテンプレート化により見やすい誌面づくりに配慮したほか、ホームページやSNSの積極的な運用を通じて市民への行政情報の浸透に努めました。また、広聴活動では、担当部局による初期対応の徹底など運行管理の見直しを行うことでスムーズな対応が進みました。 ・総合的・戦略的にまちの魅力を発信し、江別市の地域イメージを高めるため、「江別シティプロモート推進協議会」と連携しながら、SNSやフリーペーパーなど様々な媒体による地域PRを充実させるなど、市民協働を生かしたシティプロモーションを展開しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H27年度	H28年度	H29年度	目標
	市政運営に満足している市民割合		%	64.7	62.7	65.4	66.0	↗
	行政情報の共有化を感じる市民割合		%	72.7	69.4	70.4	71.0	↗
企画政策部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況								
「行政評価・外部評価推進事業」 まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合		%	—	54.2	64.9	66.1	↗	
「行政評価・外部評価推進事業」 計画的に成果が上がっている事務事業の割合		%	93.0	90.4	92.3	92.9	↗	
「広報えべつ発行事業」 広報えべつを読んでいる市民の割合		%	84.8	88.5	86.1	83.8	↗	

2. えべつ未来戦略(企画政策部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
<p>戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり</p>	<p>■1B 大学が活躍するまちづくり 「大学版出前講座支援事業」(企画課) 「大学連携調査研究助成事業」(企画課) 「大学連携学生地域活動支援事業」(企画課) 「学生地域定着自治体連携事業」(企画課)</p>
<p>戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化</p>	
<p>戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり</p>	<p>■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり (えべつ版コンパクトなまちづくり) 「公共交通利用促進対策事業」 (政策推進課参事 公共交通担当) 「大麻地区住環境活性化事業」 (政策推進課参事 住環境活性化担当)</p>
<p>戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート</p>	<p>■4A ニーズにあわせた効果的な情報発信 「ウェルカム江別事業」(広報広聴課) 「えべつシティプロモーション事業」(政策推進課)</p>

3. 企画政策部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出決算額 (千円)	一般会計 (A)	573,222	158,576	97,560	133,973	
	特別会計 (B)	0	0	0	0	
	合計 (A+B)	573,222	158,576	97,560	133,973	
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	28	30	30	31	
	平均単価 (b)	7,853	7,764	7,670	7,618	
	人件費 (a×b)	219,884	232,920	230,100	236,158	
総 額		793,106	391,496	327,660	370,131	